

30111港湾海岸工事業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2020	1	15 ～ 16	資材置き場で、資材の片付けをしている際に、地面から2～30cmの高さに積み上げてあったH鋼を移動させようと持ち上げたところ、下側に積んであったH鋼が落ちてきて、左足甲に当たり骨折した。	63	5	521	10 ～ 29
2	2020	1	8 ～ 9	防波堤内の棧橋入口付近で作業準備中、突発的な高波に作業車とともにさらわれ、海中に転落後、第3者に引き上げられた。その際、右脛骨骨幹部を折った。	66	1	713	1～ 9
3	2020	1	8 ～ 9	防波堤内の棧橋入口付近で作業準備中、突発的な高波に作業車とともにさらわれ、海中に転落後、第3者に引き上げられた。その際、第5腰椎を圧迫骨折し、右鎖骨を折った。	72	1	713	10 ～ 29
4	2020	1	12 ～ 13	助手席側のドア窓が汚れていたため、ステップにつま先をかけて拭こうとしたところ、バランスを崩して後ろ向きに倒れ、その際に、縁石で右太腿を強打して、骨折した。	71	2	221	1～ 9
5	2020	3	10 ～ 11	防波堤下約-5.0mの海中で捨て石撤去作業中、何らかの不可抗力によりインフレーターボタンが押され、ドライスーツ内に空気が入り込んだため、空気を抜こうとしたが間に合わず、浮上して提体に頭部が接触し、頭部挫創を負った。また、フェイスマスクが外れ海水を飲んで意識を失いかけて誤えん肺炎を発症した。	61	3	418	10 ～ 29
6	2020	4	9 ～ 10	漁港内で曳舟を50tクレーン台船に接岸中、台船よりロープを取ってもらい支柱にロープを掛けようとしているときに、曳舟が動いて支柱とロープの間に右手親指を挟み切断した。	41	7	379	10 ～ 29

7	2020	5	16 ～ 17	2t型消波ブロック製作作業中のヤードで、ブロック仮置きが増えたため製作ヤードが狭くなり、大型車両の通路を変更するためにブロックを数個移動していた。3点吊りの玉掛ワイヤーのシャックルをすべて外し巻き上げたとき、ワイヤー1本を型枠に掛かりブロックが転倒した。その際、被災者が倒れたブロックの下敷きになり、重傷頭部外傷を負って死亡した。	38	5	612	10 ～ 29
8	2020	6	15 ～ 16	枠組足場の張出足場上（高さ1.45m）を移動中、足を踏み外して転落し、背骨を折って頭部を打撲した。安全帯を使用していたが、フックを掛けた開口部明示ロープを頼綱と誤認していた。	56	1	411	1～ 9
9	2020	7	13 ～ 14	既設防波堤に仮置きしている、根固ブロックの玉掛作業のために、作業船から既設防波堤の階段部に移動して上る途中、めまいがして後方よろけて転倒し、左足踵を骨折した。	63	2	413	10 ～ 29
10	2020	7	8 ～ 9	上部コンクリート打設時、コンクリートポンプ車のスクリーンに骨材が挟まっていたため、取り除こうとしたとき、スクリーン下の攪拌翼と指が接触し、右人差し指に挫滅創を負った。	66	8	162	1～ 9
11	2020	8	13 ～ 14	元請け現場の敷地内で生コン打設、型枠解体ボルト外し作業をしていたとき、蒸し暑く、事務所で休憩をしたがだるさが残り、熱中症を発症した。	24	11	715	1～ 9
12	2020	8	11 ～ 12	側枠脱型作業時、玉掛ワイヤーを取り付けるため型枠に登ったところ、本来ボルトを左右2本ずつ残した状態で作業を行うところ、別の作業員が玉掛前に1本ボルトを外してしまい、重さで型枠が傾き、型枠の下敷きとなり骨盤部を折った。	27	5	412	10 ～ 29
13	2020	9	13 ～ 14	昇降設備（曲面階段）をクレーで設置作業中、階段底部プレートと接地面（H形鋼）がずれたため、押さえようとして右手親指がプレートとH形鋼に挟まれ、開放骨折、不全切断を負った。	35	7	211	10 ～ 29
14	2020	9	10 ～ 11	コンバインドローラーを自走でリース会社に返却中に横転し、頭蓋骨を折った。	70	17	144	30 ～ 49

15	2020	9	21 22	既設コンテナ版（有筋コンクリート）をタイヤバックホウにて、取り壊し、大型ダンプトラックへ積み込みを行った。そのとき、既設コンテナ版内にあった鉄筋（PC鋼線）が大型ダンプトラック荷台横部分からはみ出していたため、被災者であるタイヤバックホウ運転手が重機から降り、鉄筋を荷台の中に押し込んだ。その際、中で引っ掛からず、戻ってきたときに着用していた眼鏡レンズに当たり、割れた破片により左目に切傷を負った。	67	6	521	1～ 9
16	2020	10	11 12	土場で、フェンスの支柱を固定する作業中、斜面の不安定な場所で支柱に立て掛けた添え木を丸鋸で切断した際、丸鋸が左手に当たり、左手の平に切傷を負った。	59	8	131	30 ～ 49
17	2020	10	8 9	ダンプの荷台に上がり資材を降ろして、荷台からステップを使って降りる際、最後の1段（高さ1m）を飛び降りたところ、右足をひねったような状態になり、右足踵を骨折した。	61	1	221	100 ～ 299
18	2020	11	9 10	漁港現場で、既設グレーチング（集水柵、重量80kg）取り外し、アングルに溶接してある鉄製部品を取り除くため、2tダンプ荷台に積んで作業ヤードまで運び降ろす作業中、2人で荷台より引っ張って持ち上げた。その際、グレーチングがアングルより外れて、右手中指・薬指・小指を挟み骨折した。	29	7	611	10 ～ 29
19	2020	11	9 10	漁港現場で、既設グレーチング（集水柵、重量80kg）取り外し、アングルに溶接してある鉄製部品を取り除くため、2tダンプ荷台に積んで作業ヤードまで運び降ろす作業中、2人で荷台より引っ張り持ち上げた。その際、グレーチングがアングルより外れて、左手人差し指・中指・薬指を挟み骨折した。	79	7	529	10 ～ 29
20	2020	11	16 17	枕基礎現場内で作業ヤードの敷鉄板の敷設替えを行っていたところ、吊り位置の芯ずれが起こり、吊り上げた際、横移動して、近くにいたため左足踵に当たり、打撲および挫創を負った。	65	6	212	1～ 9
				工事現場で、据え付けていたブロックの上に砕石と栗石を敷き、そ				

21	2020	12	14	の上にクレーンで吊り下げた階段ブロックを降ろし、高さを調整する作業で、クレーンで降ろしたブロックの重みで碎石と栗石が崩れたため、ブロックとブロックの間で左足を挟み、左母趾開放骨折を負った。	61	7	418	10 ～ 29
----	------	----	----	--	----	---	-----	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。